

本学学生におけるスポーツとの関わりについての研究：SSIを履修する学生と一般学生との違いに着目して

井上, 尊寛 / INOUE, Takahiro

(出版者 / Publisher)

法政大学体育・スポーツ研究センター

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

法政大学体育・スポーツ研究センター紀要 = The Research of Physical Education and Sports, Hosei University

(巻 / Volume)

27

(開始ページ / Start Page)

39

(終了ページ / End Page)

46

(発行年 / Year)

2009-03-31

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00007523>

本学学生におけるスポーツとの関わりについての研究
 - SSI を履修する学生と一般学生との違いに着目して -

A Study on Relations with Sports in Student of HOSEI University.
 -Focus on the Difference between the Ordinary Student and the Student
 who Take the SSI Subject.-

井上 尊 寛
 Takahiro Inoue

I. 緒言

近年、少子高齢化や医療費の増大などの健康に関する問題が顕在化し、スポーツや健康に対する意識が高まっている。また、産業の成熟化に伴い余暇時間が増大したことで、余暇時間の選択肢が増え、スポーツへの関わり方においても多様化・複雑化しつつある。

このような産業構造の変化は、社会構造にも影響を与え、民間部門のみならず公共部門や大学のあり方を変革しようとする動きさえもみられる。例えば指定管理者制度の導入、公共施設の命名権の売却や、国立大学の独立行政法人化などがあげられる。大学という教育機関においても計画的な事業運営が求められていることは明らかであり、安定した受験生を確保し、社会的な要請に対応することが求められるようになっている。

大学におけるマネジメントのあり方について藤本 (2004) は、大学の使命の確認とそれを達成するためのカリキュラムや活動の充実を図るという組織内部の改革、大学がもつコアプロダクト・サービスの独自性や独創性をターゲットマーケットに正確に伝えるという外向けの改革の二つを挙げている¹⁾。大学体育も例外ではなく、全国規模でこれらの諸問題に対応すべく模索・検討がおこなわれている²⁾。このように、大学体育においても戦略的な取り組みが必須のもととして位置づけられつつある。

法政大学は、15の学部と大学院を備えた総合大学である。学生数は2008年5月の時点で42,172人、さらに2009年度にはスポーツ健康学部が開設される³⁾。また、スポーツに優れた者の特別推薦入試合格者でSSI参加学部・学科へ入学する者、SSI履修を希望する者という条件を満たしている者の学部横断的なコースであるSSIを設置し、スポーツへの理解と総合的な知識の習得を目指している⁴⁾。このように、スポーツの取り組みという点で、本学の独自性や独創性を高めていく為のカリキュラムの設置や施策を講じている。さらに、これらのことを高めていくためには、本学学生のスポーツ行動やかかわり方を把握し、それを踏まえた戦略の策定が必要であると考える。スポーツ環境が受動的に享受できるのは学生の間だ

けであるため、スポーツに関する活動の増加と関心を高め、今後の自発的なスポーツライフ形成の基礎を築くためにもスポーツとの関わりを把握するための調査は重要である。

本研究は学生とスポーツの関わりに着目し、多様化・複雑化する現在のスポーツにおいて、生涯スポーツの基礎部分の形成とスポーツに関する関心や活動の増加を見据えた、大学のマネジメントに活用しうる基礎的な資料を得ることを目的としている。また、SSIを履修する学生は、一般の学生(以下学部生)とはスポーツ行動や関わりにおいて異なる特徴を持っていると考えられるため、SSIの学生と学部生の2つのセグメントを設定し、比較分析をおこなった。これらのことは、大学におけるスポーツの果たす役割について新しい視点を提供し、問題点を把握するとともに、学内マネジメントに資する研究であると考えられる。

II. 研究の方法

本研究は、スポーツへのかかわりの違いに着目し、SSI科目を履修する学生(以下SSI)と、一般体育を履修する学生(以下学部生)に質問紙調査を実施した。スポーツとのかかわりに関する項目について、上記の2つのセグメントを比較し、分析をおこなった。構成比は、SSI58.5%、学部生41.5%であった(表1)。調査は以下のように実施した。

表1. SSI および学部生の構成比

SSI	58.5
学部生	41.5
合計	100.0
n	130

調査の概要

1. 調査期間および調査内容

2008年6月26日、2008年11月5日SSI科目スポーツ産業論IおよびIIの受講者。2008年6月26日、2008年11月12日スポーツ総合前期・後期受講者

調査内容

本調査は以下の項目を設定した。性別・年齢・居住地・交通費・大学までの所要時間などの個人的属性、スポーツとのかかわりとして、スタジアムやテレビにおけるスポーツの観戦行動、観戦理由・観戦しない理由や、スポーツをする理由・しない理由、スポーツ観戦への勧誘行動、被勧誘行動、スポーツの実施状況、スポーツの情報収集など。そして、スポーツ用品の購買行動およびサプリメントの使用状況などを設定した。

スポーツ観戦への勧誘行動・被勧誘行動の項目はJリーグ観戦者調査を参考に設定し⁵⁾、スポーツ観戦する理由・観戦しない理由や、スポーツをする理由・しない理由については自由回答による設問を設定した。

2. 回収状況

スポーツ産業論Ⅰ	50票
スポーツ産業論Ⅱ	26票
スポーツ総合 前期	32票
スポーツ総合 後期	22票

回収率100%、計130票の有効回答が得られた。

Ⅲ. 結果

1. デモグラフィクス特性

1) 性別 (表2)

SSIで男性が86.8%、学部生で100%が男性と、男性の構成比が高いことがわかる。

表2. SSI および学部生の男女構成比

	SSI	学部生
男性	86.8	100.0
女性	13.2	0.0
合計	100.0	100.0
n	76	54

2) 年齢 (表3)

SSIでは平均年齢が20.6歳、学部生では18.7歳であった。

表3. SSI および学部生の平均年齢

	SSI	学部生
平均(歳)	20.57	18.74 ***
標準偏差	0.77	0.65
n	76	54

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

3) 居住地 (表4)

居住地の構成比はSSIで東京都 (43.4%)、神奈川県 (35.5%)、埼玉県 (15.8%)、千葉県 (5.3%) の順であった。学部生も同様に東京都 (33.3%)、神奈川県 (31.5%)、埼玉県 (18.5%)、千葉県 (11.0%) の順であった。SSIのほうが東京都に居住する者の構成比が高く、本学近辺に居住している割合が高いことがわかる。

表4. SSI および学部生の居住地

	SSI	学部生
1位	東京都(43.4%)	東京都(33.3%)
2位	神奈川県(35.5%)	神奈川県(31.5%)
3位	埼玉県(15.8%)	埼玉県(18.5%)
4位	千葉県(5.3%)	千葉県(11.0%)
n	76	54

4) 居住環境 (表5)

SSIでは一人暮らし (37.0%) または寮 (50.7%) に居住している割合が高く、一方で学部生は実家 (79.2%) から通っている割合が高いことがわかった。

表5. SSI および学部生の居住環境

	SSI	学部生
実家	12.3	79.2
一人暮らし	37.0	18.9
寮	50.7	1.9
合計	100.0	100.0
n	73	53

5) 本学スポーツ団体への所属 (表6)

SSIでは98.7%とほぼ体育会に所属しているが、学部生ではスポーツ系のサークルに所属している者は45.3%、いずれにも所属していない者が50.9%とほぼ半数が学内でスポーツをする環境がないことがわかった。

表6. SSI および学部生のスポーツ団体への所属

	SSI	学部生
体育会	98.7	3.8
サークル	0.0	45.3
所属無し	1.3	50.9
合計	100.0	100.0
n	76	53

6) 大学までの所要時間および交通費 (表7、表8)

所要時間では、SSIで平均49.68分、学部生では平均で72.58分であった。交通費ではSSIが平均380.24円、学部生で平均592.34円とSSIのほうが学部生より大学近辺に居住し、交通費も低く大学へのアクセスが良いことがわかった。

表7. SSI および学部生の本学までの所要時間

	SSI	学部生
平均(分)	49.68	72.58 ***
標準偏差	20.78	27.76
n	76	54

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

表8. SSI および学部生の交通費

	SSI	学部生
平均(円)	380.24	592.34 ***
標準偏差	231.24	339.65
n	76	51

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

2. スポーツ行動

1) 昨年のスポーツ観戦 (表 9)

昨年一年間にスポーツを観戦したことが「ある」と回答したものは、SSIで46.1%、学部生で38.9%であった。SSIの学生のほうが、スポーツ観戦に対して積極的であることがわかった。しかしながら、SSIの学生は体育会に所属しながらも、観戦行動をとらない割合が53.9%と高いこともわかった。

表 9. SSI および学部生の昨年度のスポーツ観戦

	SSI	学部生
観戦あり	46.1	38.9
観戦なし	53.9	61.1
合計	100.0	100.0
n	76	54

2) 応援するプロスポーツクラブの有無 (表 10)

応援しているプロスポーツクラブの有無は、SSIの学生では「ある」と回答したものは46.4%、学部生で61.2%とSSIの学生の方がひいきのクラブが「ある」と回答したものの割合が低いことがわかり、学部生とは異なったスポーツ観がみられた。

表 10. SSI および学部生の応援するプロクラブの有無

	SSI	学部生
あり	46.4	61.2
なし	53.6	38.8
合計	100.0	100.0
n	69	49

3) スポーツ観戦への勧誘・被勧誘行動 (表11、表12)

スポーツへの勧誘行動では、SSIで、「よく誘う」4.2%、「時々誘う」16.7%と勧誘行動をとるものは約20.0%であった。学部生では「よく誘う」11.1%、「時々誘う」24.1%と勧誘行動をとるものは、約35%とSSIと比較すると高い割合で勧誘行動をとることがわかった。

表 11. SSI および学部生のスポーツ観戦への勧誘行動

	SSI	学部生
よく誘う	4.2	11.1
時々誘う	16.7	24.1
あまり誘わない	34.7	18.5
まったく誘わない	44.4	46.3
合計	100.0	100.0
n	72	54

被勧誘行動では、SSIで、「よく誘われる」2.8%、「時々誘われる」30.6%と約33%がスポーツ観戦に誘われることがわかった。学部生では、「よく誘われる」3.7%、「時々誘われる」48.1%と約52%が誘われることがわかった。学部生の方がSSIの学生に比べ、スポーツ観戦に誘い・誘われる環境にあることがわかった。

表 12. SSI および学部生のスポーツ観戦への被勧誘行動

	SSI	学部生
よく誘われる	2.8	3.7
時々誘われる	30.6	48.1
あまり誘われない	38.9	29.6
まったく誘われない	27.8	18.5
合計	100.0	100.0
n	72	54

4) テレビでのスポーツ観戦 (表13)

テレビでの観戦では、SSIで「よくみる」38.2%、「時々みる」40.8%。学部生は、「よくみる」25.2%、「時々みる」55.6%と両グループでテレビでのスポーツ観戦をすると回答したものの構成比が高く、スポーツを観戦することへの興味が高いことが伺える。

表 13. SSI および学部生のテレビでのスポーツ観戦状況

	SSI	学部生
よくみる	38.2	25.9
時々みる	40.8	55.6
あまりみない	21.1	11.1
まったくみない	0.0	7.4
合計	100.0	100.0
n	76	54

5) スポーツの実施状況 (表14)

SSIでは体育会に所属している学生であるため、「よくする」と回答したものの割合が87.5%とかなり高い。一方で、学部生においては「よくする」27.8%、「ときどきする」29.6%と、半数以上の学部生にスポーツ習慣があることがわかったが、約42%の学部生にはスポーツ習慣がないこともわかった。

表 14. SSI および学部生のスポーツ実施状況

	SSI	学部生
よくする	87.5	27.8
ときどきする	6.9	29.6
あまりしない	5.6	37.0
まったくしない	0.0	5.6
合計	100.0	100.0
n	72	54

6) スポーツ観戦の理由・観戦しない理由 (表15、表16)

観戦理由としては、SSIではレベルの高い試合が観たい10.5%、応援7.9%、勉強のため7.9%などの競技に直結する要素が高い割合で認められた。学部生では、楽しみ・興奮する14.8%、臨場感を味わいたい9.3%などの余暇時間の活用やスタジアムの雰囲気味わいたいという要素の割合が高いことがわかった。

表15. SSIおよび学部生のスポーツ観戦理由

	SSI	学部生
レベルの高い試合がみたいから	10.5	7.4
応援のため	7.9	5.6
勉強のため	7.9	5.6
興味があるから	6.6	1.9
スカウティング	5.3	0.0
好きだから	3.9	5.6
臨場感を味わいたいから	3.9	9.3
楽しい・興奮するから	2.6	14.8
友人に誘われて	2.6	1.9
チケットが手に入ったから	2.6	0.0
その他	3.9	0.0
無回答	42.1	48.1
合計	100.0	100.0
n	76	54

スタジアムへ行かない理由は、SSIで時間的な余裕がない36.8%が主な理由として挙げられていることが分かった。学部生では、時間的な余裕がない18.5%、金銭的に余裕がない11.1%、スポーツ観戦自体に興味がない11.1%とSSIの学生とは異なった観戦への阻害要因が認められた。

表16. SSIおよび学部生のスポーツを観戦しない理由

	SSI	学部生
時間がないから	36.8	18.5
テレビで満足だから	9.2	7.4
金銭的に余裕がないから	6.6	11.1
スタジアムへのアクセスが悪いから	2.6	0.0
チケットが高いから	1.3	5.6
興味がないから	1.3	11.1
その他	2.6	1.9
無回答	39.5	44.4
合計	100.0	100.0
n	76	54

7) スポーツをする理由 (表17、表18)

スポーツをする理由としてSSIでは、部活に所属しているため26.3%、スポーツが好きだから15.8%、勝つため11.8%と上位に挙げられている要素が競技志向の強いものであることがわかった。学部生では、スポーツが好きだから22.2%、健康・ストレスの解消のため14.8%などが上位に挙げられていることがわかった。

表17. SSIおよび学部生のスポーツをする理由

	SSI	学部生
部活・サークルに所属しているため	26.3	1.9
好きだから	15.8	22.2
勝つため	11.8	1.9
技術力の向上	7.9	3.7
自分の存在意義	7.9	1.9
将来の為	6.6	0.0
健康・ストレスの解消のため	3.9	14.8
自分がやってきた競技だから	2.6	5.6
推薦入試の条件だから	2.6	0.0
その他	0.0	1.9
無回答	14.5	46.3
合計	100.0	100.0
n	76	54

スポーツをしない理由としてSSIの学生は体育会に所属しているため、ほぼ挙がっておらず、学部生においては時間的な余裕がない13.0%、スポーツ環境がない9.3%、スポーツをする機会がない9.3%などの周囲のスポーツ環境が未整備であることがスポーツ実施の阻害要因として存在していることがあきらかとなった。

表18. SSIおよび学部生のスポーツをしない理由

	SSI	学部生
時間的な余裕がないから	0.0	13.0
スポーツ環境がないから	0.0	9.3
スポーツをする機会がないから	0.0	9.3
スポーツが苦手だから	0.0	3.7
運動欲求がないから	0.0	1.9
スポーツに興味がないから	0.0	1.9
その他	1.3	0.0
無回答	98.7	61.1
合計	100.0	100.0
n	76	54

8) スポーツに関する情報収集 (表19)

SSIではテレビ92.1%、スポーツ雑誌40.8%、スポーツ新聞34.2%などから情報を得る割合が高いことがわかる。学部生ではテレビ90.7%、新聞(一般紙)48.1%、友人・知人・家族42.6%とSSIの学生と比べると上位の項目に違いがみられた。また、両グループで携帯電話情報サイトやインターネットサイトを活用し情報を収集する割合が高いことがわかった。学部生に関しては、友人・知人などの口コミでの情報交換もある程度活発で、スポーツに関する関心が高く多くのメディアにアクセスしていることが特徴として挙げられる。また、学生全体の特徴としては、SNSを情報源とする割合も他の世代と比較して高いのではないかと推察される。

表19. SSIおよび学部生のスポーツの情報収集経路

	SSI	学部生
新聞(一般紙)	31.6	48.1
スポーツ新聞	34.2	18.5
テレビ	92.1	90.7
ラジオ	0.0	3.7
スポーツ雑誌	40.8	37.0
一般の雑誌	7.9	13.0
友人・知人・家族	30.3	42.6
チラシ・パンフレット等の配布物	3.9	1.9
メルマガ	7.9	5.6
クラブやリーグなどの公式HP	9.2	18.5
ウェブサイト	21.1	33.3
携帯電話情報サイト	25.0	24.1
sns	14.5	14.8
選手などのブログ	3.9	7.4
タウン誌	0.0	0.0
自治体広報誌	0.0	0.0
その他	1.3	0.0
	323.7	359.2

9) インターネットの使用状況 (表20)

SSIでPCと携帯を活用していると回答したものが57.3%、PCのみ20.0%、携帯のみ16.0%であった。学部生はPCと携

帯63.0%、PCのみ24.1%、携帯のみ11.1%であった。学生全般として、周囲にインターネットの環境があり、その多くはPCのみに限定されず、携帯も活用し情報収集をおこなっていることがわかった。

表20. SSIおよび学部生のインターネット利用状況

	SSI	学部生
pcと携帯	57.3	63.0
pc	20.0	24.1
携帯	16.0	11.1
利用なし	6.7	1.9
合計	100.0	100.0
n	75	54

10) 購買行動、サプリメント・スポーツ用品 (表21、表22、表23)

1ヶ月あたりのスポーツ用品の購入費用は、SSIで用品購入代金が平均6,026円、学部生が2,202円で、SSIでは学部生の約3倍の費用がかかっていることがわかる。

表21. SSIおよび学部生の1ヶ月あたりのスポーツ用品購入費用

	SSI	学部生
平均(円)	6,025.94	2,202.13 ***
標準偏差	7,567.07	3,132.33
n	63	47

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

1ヶ月あたりのサプリメント購入費用はSSIで4,876円、学部生で508円と約9倍の差があることがわかった。

表22. SSIおよび学部生の1ヶ月あたりのサプリメント購入費用

	SSI	学部生
平均(円)	4,876.39	507.50 ***
標準偏差	5,483.38	1,677.82
n	64	47

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

1ヶ月あたりにスポーツの実施にかかる経費ではSSIで平均34,421円、学部生で約7,962円と約4倍の差があることがわかった。

表23. SSIおよび学部生の1ヶ月あたりスポーツの実施にかかる費用

	SSI	学部生
平均(円)	34,421.19	7,962.49 **
標準偏差	62,985.34	33,548.71
n	66	29

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

11) サプリメントの使用状況 (表24、表25)

サプリメントの使用状況は、SSIの学生で「よく使う」27.8%、「時々使う」13.9%と約40%が使用していることがわかった。一方で、学部生では「よく使う」5.6%、「時々使う」

で18.5%と約24%が使用すると回答したことがわかった。学部生でもサプリメントの使用がある程度みとめられた。

表24. SSIおよび学部生のサプリメント使用状況

	SSI	学部生
よく使う	27.8	5.6
時々使う	13.9	18.5
あまり使わない	16.7	27.8
まったく使わない	41.7	48.1
合計	100.1	100.0
n	72	54

12) 1ヶ月あたりの自由裁量所得

SSIで平均46,488円、学部生で平均25,575円と、SSIの学生のほうが、1ヶ月あたりで自由に使える金額は大きいですが、スポーツ用品およびサプリメントの購入代金などの購入費用などを考慮したうえで学部生と比較するとSSIの学生の自由裁量所得は低いことがわかった。

表25. SSIおよび学部生の1ヶ月あたりの自由裁量所得

	SSI	学部生
平均(円)	46,488.58	25,575.47 ***
標準偏差	23,341.54	16,734.18
n	66	29

*p<0.05 **p<0.01 ***p<0.001

IV. まとめ

本研究は、SSIと学部生のスポーツ行動およびスポーツとのかかわりに着目し、その違いについて分析をおこなった。これら2つのグループを分析した結果、SSIの学生はスポーツの実施頻度が高く、学部生はスポーツを「みる」、または「情報を集める」という点においてSSIの学生より積極的であるという傾向がみられた。大学におけるマネジメントとしては、学部生がスポーツ観戦に積極的であり、誘い・誘われる関係も活発なことからプロスポーツクラブとの共同プロジェクトやユニバーシティ・アイデンティティ向上の一環として、体育会の試合などへの勧誘を含むプロモーション活動なども有効であると考えられる。また、インターネットおよび携帯サイトを活用した広報戦略も到達可能性が高く、効果的であることが示唆された。

学部生の体育授業に関しては、スポーツができる環境下がない学部生の割合も高いことから、スポーツの機会の確保および、今後の自発的なスポーツ行動を活性化させるような授業展開が必要であると考えられる。また、SSIの学生に関しては、競技志向が高く、特定の競技にコミットされていると考えられるため、他の競技の特性やスポーツを楽しむということへの理解を深め、卒業後競技をやめてもスポーツライフを享受できるような資質や能力の向上を目的とした授業展開も必要であると考えられる。

V. 今後の課題

本研究では、スポーツ産業論およびスポーツ種目総合の授業を受講する学生を対象としたが、男性の構成比が高く、性差を考慮すると不十分であった。また、スポーツ種目総合は1年生が受講する授業であるため、学生年代（19歳から22歳）を代表するデータが収集できたとは言いがたい。学部生は学年が上がれば体育の授業を受講することもなくなるため、スポーツをする場が減少していることも考えられる。今後は調査の対象を広げ、より学生のスポーツの実態を把握できるように調査を展開する必要があると考える。また、経年でデータを収集し、変化を見ることも重要であると考えられる。

VI. 引用参考文献

- 1) 藤本淳也 (2005). 大阪体育大学のブランド認知とブランドイメージに関する研究-保健体育教諭の出身大学間比較分析-, 大阪体育大学紀要, 第36巻, p.102.
- 2) 大木昭一郎他 (1992). 筑波大学体育専門学群生の学生生活及びスポーツ観、職業観に関する調査報告, 大学体育研究, 14, p.87.
- 3) 法政大学公式ホームページ
<http://www.hosei.ac.jp/hosei/gaiyo/ruikei/index.html>,
2008年12月4日現在
- 4) 法政大学公式ホームページ
<http://www.hosei.ac.jp/ssi/about/index.html>,
2008年12月4日現在
- 5) Jリーグ公式ホームページ, 2007スタジアム観戦者調査報告書 <http://www.j-league.or.jp/aboutj/2007kansensha.pdf>,
2008年12月4日現在

参考資料

平成 20 年 スポーツ産業論Ⅱ アンケート

アンケート調査へのご協力のお願い

ご回答は匿名でいただき、すべて統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた皆様にご迷惑をおかけすることは絶対
にございません。以上の主旨をご理解いただき、率直なご回答とご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

次の事柄をご記入ください

1) 性 別	1. 男性 2. 女性
2) 年 齢	() 歳
3) お住まい	() 都・道・府・県 () 市・郡・区・町・村 実家 ・ 一人暮らし ・ 寮
4) 出身地	() 都・道・府・県
5) 所属している団体(スポーツ)	1. 体育会 2. サークル 3. いずれにも所属していない
6) 昨年のスタジアムおよびアリーナなどの スポーツ施設でのスポーツ観戦の有無・ 観戦回数	1. <u>観戦したことがある</u> (年 回) 2. 観戦していない
6-1) 観戦したことがあるとお答えになった 方にお聞きします 観戦したスポーツの種目およびカテゴリー はどちらですか	(種目名:) 1. プロ 2. アマチュア 3. 大学生 4. その他() (種目名:) 1. プロ 2. アマチュア 3. 大学生 4. その他() (種目名:) 1. プロ 2. アマチュア 3. 大学生 4. その他()
7) スポーツ観戦に行く理由をお書き下さ い	
8) スポーツ観戦に行かない理由をお書 きください	
9) 応援しているプロスポーツクラブはあ りますか	1. ある (クラブ名:) 2. 特になし
10) 大学までの所要時間	片道およそ () 分
11) 大学までの 交通費(片道)	片道およそ () 円 (車を使用する場合は、ガソリン代・高速料金代等の経費を含んだ金額をご記入下さい)
12) 大学までの主な交通手段 ※(ひとつだけ)	1. 車 2. 電車 3. バス 4. バイク 5. 徒歩 6. 自転車 7. その他()
13) インターネットの利用状況	1. パソコンと携帯の両方で利用している 2. 主にパソコンから利用している 3. 主に携帯から利用して 4. 利用していない
14) 「スポーツ」の情報 は、主にどこから入 手していますか。 (いくつでも)	1. 新聞(一般紙) 2. スポーツ新聞 3. テレビ 4. ラジオ 5. スポーツ雑誌 6. 一般の雑誌 7. 友人・知人・家族 8. チラシ・パンフレット等の配布物 9. メールマガジン 10. スポーツクラブやリーグなどの公式ホームページ 11. ウェブサイト(インターネット) 12. 携帯電話情報サイト 13. SNS(mixiなどのソーシャルネットワーキングサイト) 14. 選手などのブログ 15. タウン誌 16. 自治体広報誌 17. その他(具体的に:)
15) 1ヶ月の自由裁量所得 (おこづかい)	およそ() 円 ※差し支えがなければ、あなたひとりがレジャー活動や趣味等に、1ヶ月間で自由に使える金額をご記入下さい。
16) サプリメント(ビタミン、プロテイン やBCAA, クレアチン、ゼリーなど) を利用していますか	① <u>よく使う</u> 2. <u>時々使う</u> 3. あまり使用しない 4. まったく使用しない ↓ (よく購入するメーカー:)
17) テレビでスポーツ中継をどのくら いみえますか	① <u>よくみる</u> 2. <u>時々みる</u> 3. あまりみない 4. まったくみない ↓ (種目名:)

参考資料

平成 20 年 スポーツ産業論Ⅱ アンケート

18)自分で実際にスポーツをどのくらいおこないますか	① <u>1.よくする</u> 2.時々する 3.あまりしない 4.まったくしない ↓ (種目名:) 週(回)
18-1)よくする、時々すると答えた方にお聞きします スポーツをする理由は何ですか	
18-2)あまりしない、まったくしないと答えた方にお聞きします スポーツをしない理由は何ですか	
19)スポーツの観戦を周囲の人にすすめることはありますか	1.よく誘う 2.時々誘う 3.あまり誘わない 4.まったく誘わない
20)周囲の人からスポーツの観戦に誘われることはありますか	1.よく誘われる 2.時々誘われる 3.あまり誘われない 4.まったく誘われない
21)よく見るスポーツ番組を3つ挙げてください(報道・バラエティ・ドキュメントなどを含む)	(番組名1 :) (番組名3 :) (番組名2 :)

Q1. 好きなスポーツブランドを3つ挙げてください

() () ()

Q2. 1ヶ月でスポーツ用品・グッズおよびサプリメント にかける金額はどのくらいですか

(スポーツ用品・グッズ: 約 円) (サプリメント: 約 円)

Q3. SSIの学生にお聞きします。卒業後の進路について (現段階で)

1.競技を続ける(プロもしくは企業の部活動などで) 2.競技をやめ就職する 3.未定 4.その他()

Q4. 1ヶ月でスポーツをする(場所代やスポーツジムの会費・遠征費など)に必要な金額はどのくらいですか。

(約 円)

Q5. 契約およびサポートしてもらっている(物品およびサプリメントの提供など)スポーツメーカーがありますか

1.ある 2.特にない

Q6. 一般の学生にお聞きします。本学体育会の試合を観戦したことがありますか。

1.ある(種目) 2.ない

Q6-1. 一般学生にお聞きします。本学体育会の試合を観戦したいと思いますか。

1.ぜひ観戦したい 2.どちらかという観戦したい 3.どちらともいえない
4.機会があれば観戦したい 5.特に観戦の意向はない

Q7. プロスポーツクラブといえどどのクラブを思い浮かべますか 1つお答えください

(クラブ名:)

Q8. スタジアムやアリーナで観戦してみたい競技はありますか

1.ある(種目名) 2.特にない

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。